



多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



10・11月開催予定の講座案内

164回 題名 9・11あの日あの日のことそして日本人として思ったこと

日時 平成29年10月12日(木) 14:30から約1時間

講師 福永 佳津子 氏((一社)海外邦人安全協会理事、海外カウンセラー)

内容 世界を震撼させた「9・11」から今年で16年。混乱するNYに入り、悲劇を目の当たりにした自らの体験と、海外の地で事件に巻き込まれた邦人たちの混乱と絶望がどれほどのものだったか、日本人として感じたこみ上げる思いをお話します。

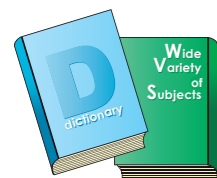


165回 題名 固有の瑕疵について保険者はどこまで責任を負担するか

日時 平成29年11月9日(木) 14:30から約1時間 講師 松島 恵 氏(明治学院大学名誉教授、商学博士)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター(10月12日)、武蔵野市かたらいの道(11月9日)
- ライブ中継・VOD視聴について
多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人 東京雑学大学

平成29年11月講義案内

(受講料：会員は無料、会員でない方は11月9日を除き1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1109回	11月2日(木) 14:00から	言葉によらないコミュニケーションについて ～文学テキストを中心に～	米山 益己 氏 (学習院女子大学名誉教授)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1110回 ※	11月9日(木) 14:30から	固有の瑕疵について 保険者はどこまで責任を負担するか	松島 恵 氏 (明治学院大学名誉教授、商学博士)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1111回	11月16日(木) 14:00から	歴史に向き合うことは	岡田 孝子 氏 (NPO法人女性文化研究所代表理事)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1112回	11月23日(木・祝) 14:00から	萱の原・雑木林から探る武蔵野	椎名 豊勝 氏 (一社)日本樹木医会会長	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1110回は、第165回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第111回

多摩地区の『江戸名所図会』を歩く =江戸と平成の今昔=

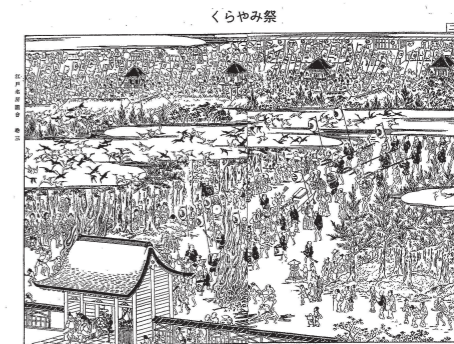
【講師】 神谷 政明 氏

イベント関係の会社で、舞台や展示、区や市の催し物や式典等の会場設営の仕事をし、趣味で街道を歩いています。定年後『江戸名所図会』を歩き、現在は「歴史の道を歩く会」の会員となっています。

【内容】 『江戸名所図会』は天保7年(1836年)に出版された江戸の絵入りの地誌・案内書です。全部で目次の項目が1040ヶ所あり、その内絵がある所は670ヶ所程ですが、私は絵のある所と文章だけの所も含めて全て歩いて写真を撮り、アルバム18冊にまとめました。

著者は神田雉子町(司町)の名主の齊藤親子3代で、30数年かけて編纂し、絵は江戸の生まれの絵師・長谷川雪旦が描きました。この本はこの人の絵があることで資料的価値が高いとされています。

今回はその内の多摩地区の12~13枚を選んでご紹介いたします。



日時 平成29年10月22日(日) 14:00~16:00
場所 多摩交流センター会議室
京王線府中駅北口 府中駅北第2庁舎6階(府中市寿町1-5-1)
申込方法 当日会場にお越しください。
先着50名までとさせていただきます。
受講料 無料
問合せ先 多摩交流センター内 TAMA市民塾
TEL 042-335-0111

「多摩交流センターだより」の問合せ先

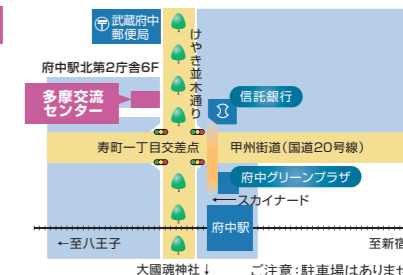
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 10月に入りました。10月は旧暦では神無月(かんなづき)と呼ばれています。
神無月の語源については諸説ありますが、その一つに、「全国の八百万(やおよそ)の神々が年に一回、出雲大社(島根県)に話し合いに集まるため、他の土地では神様が留守になるので神無月と呼ばれるようになった」という説があります。
出雲大社は、日本神話で有名な大国主大神(おおくにぬしのおおかみ)をお祀りしている神社で、府中市にある大國魂神社(おおくにたまじんじや)のご祭神と同じだとされています。
大國魂神社では、毎月お祭りが行われており、同神社のホームページによれば、5月の「くらやみ祭」のような大きなものから、毎日行われる「御日供祭(神様に食事を差し上げる祭)」を含めると、年間のお祭りは400近いとのこと。
- この大國魂神社と京王線府中駅をはさんで反対方向の駅の北側には、当調査会の「多摩交流センター」があります。
多摩交流センターは、平成6年7月に、多摩地域の広域的市民活動を支援する拠点として当調査会内に開設されました。
開設から24年目に入り、多摩地域の市町村のワクを越えて行われる市民活動がより拡大、充実したものとなるよう、支援を行って

きているところです。

活動や発表の場の経費の一部を助成することによって、市民ネットワークの拡充や相互交流を促進する「広域的市民ネットワーク活動等事業助成」、新たに市民活動を始めようとする場合などに事業経費の一部を助成する「広域的市民ネットワーク活動支援」(本誌6ページ参照)など、同センターが直接実施する事業のほか、市民団体との共催等による事業(共催等事業)も実施しています。

○ 共催等事業としては、10月に「TAMA市民塾」が開講します。歴史、外国語、書道、水彩画、健康、音楽など様々な講座が行われています(本誌No.45(2017年6月1日発行)P.10~11参照)。10月開講分の申込期間は過ぎてしまいましたが、来年4月開講分の申込みは本年12月に行いますので、興味・関心のある方はぜひお申し込みください。

また、毎月第2木曜日には、「多摩発・遠隔生涯学習講座」として、インターネットを通じて多彩な情報を発信しています。どなたでも無料で受講できます(本誌8ページ参照)。

○ 多くの方々・団体に、多摩交流センターの事業を利用いただけることを期待しております。詳しくは、多摩交流センター又は当調査会事業部企画課にお尋ねください。(SK)